

## ＜幼児向き＞

### 「おすしのずかん」

大森 裕子／作

白泉社刊

まぐろ さーもん たいに あじ。たこ えび たまごに はんばーぐ。おすしと おすしになる おさかなをまなべます。みんなは なんの おすしが すき？

### 「きのみのケーキ」

たるいし まこ／さく

福音館書店刊

たぬきが つくった ケーキが なくなっちゃった！？もりのみんなは……。

### 「イエペはぼうしがだいすき」

石亀 泰郎／写真 文化出版局編集部／文

文化出版局刊

デンマークに すんでいる イエペは 3さい。だいすきな ぼうしをかぶって ほいくえんに いきます。

### 「さつまのおいも」

中川 ひろたか／文 村上 康成／絵

童心社刊

つちのなかで おいもたちは まいにち からだを きたえています。こどもたちとの つなひきに まけないように。たとえ まけたって、すごーいおかえしを しちゃいます。

### 「せきたんやのくまさん」

フィービ・ウォージントン／さく・え

セルビ・ウォージントン／さく・え

いしい ももこ／やく

福音館書店刊

くまさんの おしごとは、せきたんをうることです。はたらきものの くまさんの いちにちが はじまります。



### 「ごはん」

平野 恵理子／作

福音館書店刊

ごはんをつかったおりょうりが大しゅうごう。オムライス おむすび おすし かつどん…すきなごはんはあるかな？

### 「もりのてぶくろ」

八百板 洋子／ぶん

ナターリヤ・チャルーシナ／え

福音館書店刊

もりに てぶくろの ような かたちの はっぱが おちて いました。はっぱに ぴったり あうのは だれので？

### 「やまなしもぎ」

平野 直／再話 太田 大八／画

福音館書店刊

3人のきょうだいは ぐあいの わるい おかあさんのために おくやまに やまなしを とりに いきます。

## ＜低学年向き＞

### ほ かき 「干し柿」

西村 豊／写真・文

あかね書房刊

あまくてやわらかい干し柿は、もとはしぶ柿だったんですよ。どうしたらできるか、作り方もわかります。

### 「ぞくぞく村のおおかみ男」

末吉 暁子／作 垂石 眞子／絵

あかね書房刊

おおかみ男のちくちく先生は、ぞくぞく村の<sup>は いしや</sup>歯医者さん。うでがよく、いつも大いそがし！そんなちくちく先生にはなやみがあって……。

### 「どんぐりもりのおきゃくさん」

香山 美子／文 飯村 茂樹ほか／写真

ひさかたチャイルド刊

さる、りす、ねずみ。いろんな動物たちがやってくるどんぐりもり。さて、きょうのおきゃくさん、だーれ？

## 「もりのかくれんぼう」

末吉 暁子／作 林 明子／絵

偕成社刊

こうえんであそんだかえりみち、けいこはおにいちゃんのあとをおって、いきどまりのいけがきをぬけると、そこにはみたこともないおおきなもりがありました。

## 「きょうのごはん」

加藤 休ミ／作

偕成社刊

きょうのごはんはなーに？ネコがばんごはんのパトロール。カレーにオムライスにコロケ、どれもとってもおいしそう！

## 「おおきなおおきなおいも」

赤羽 末吉／さく・え

福音館書店刊

おいもの絵を描<sup>か</sup>きはじめた子どもたち。紙をどんどんつなげると、おおきなおおきなおいもができました。

## 「たのしいふゆごもり」

片山 令子／作 片山 健／絵

福音館書店刊

きのみ、きのこ、さかなに、はちみつ。くまのおやこは、もりのめぐみをあつめて、ふゆごもりのよういをはじめます。あたたかさがつたわってくるきがしますよ。

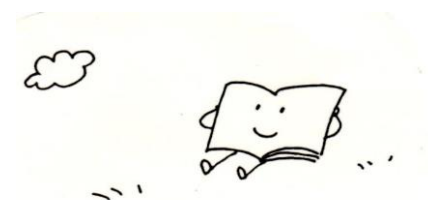
## 「番ねずみのヤカちゃん」

リチャード・ウィルバー／さく

松岡 享子／やく 大社 玲子／え

福音館書店刊

ドドさんの家<sup>す</sup>に住むおかあさんねずみと4匹<sup>ひき</sup>の子ねずみたちは、人間<sup>にんげん</sup>に見つからないようにこっそり暮らしていました。ところが、4番目の子ねずみ・ヤカちゃんは声が大きくて……。



## < 中学年向き >

### 「<sup>ほ</sup>干したから…」

森枝 卓士／写真・文

フレーベル館刊

お米にパスタ、干し柿<sup>がき</sup>、魚<sup>ひもの</sup>の干物…  
みんな干したものです。どうしてわざわざ干したのかな？干すと何が<sup>か</sup>変わるのかな？

### 「アビーとテスのペットはおまかせ！」

トリーナ・ウィーブ／作

宮坂 宏美／訳    しまだ しほ／絵

ポプラ社刊

アビーのゆめは、じゅういになること！そこで、近所のウィルソンさんが飼っている金魚を、るすの間妹のテスとお世話させてもらうことにしました。2人は無事お世話できるのでしょうか。

### 「どんぐい<sup>やまねこ</sup>と山猫」

宮沢 賢治／作    田島 征三／絵

三起商行刊

ある日、一郎に届<sup>とど</sup>いたおかしな葉書<sup>はがき</sup>。  
「さいばんしますから、おいでんなさい。」それは山猫<sup>はんじ</sup>の判事とどんぐり<sup>きみよう</sup>たちの奇妙<sup>さいばん</sup>な裁判<sup>さそ</sup>のお誘いでした。

### 「ゆきひらの話」

安房 直子／作    田中 清代／絵

偕成社刊

おばあさんがかぜをひいてひとりでねていると、台所のあたりでコトコトと音がします。だれもいないはずなのにいったいだれでしょう？

### 「おすしやさんにいらっしゃい！」

おかだ だいすけ／文

岩崎書店刊

みんなが好きなおすしもかつては生きものだった！生きものが食べものになるまでのお話。

### 「クモのアナンシ」

フィリップ・M. シャーロック／再話

岩波書店刊

ジャマイカの昔話。アナンシは、時々人間<sup>にんげん</sup>になったり、クモになったりします。そして、ずるがしこさで自分より大きい動物を相手に大活躍<sup>だいかつやく</sup>。

### 「かみさまのベビーシッター」

廣嶋 玲子／作    木村 いこ／絵

理論社刊

幸介は福引きでかみさまのたまごを手に入れた。これで幸運<sup>こううん</sup>にめぐまれて願<sup>ねが</sup>い事もかなう、はずだったのに……。

### 「落ち葉」

平山 和子／文と絵

福音館書店刊

秋、色鮮<sup>あざ</sup>やかに染<sup>そ</sup>まった落ち葉たち。同じ葉でも色や模様<sup>もよう</sup>が様々です。自然が作り出す色の美しさを感じることができる本です。

## <高学年向き>

### 「クローディアの秘密」

E. L. カニグズバーグ／作

松永 ふみ子／訳

岩波書店刊

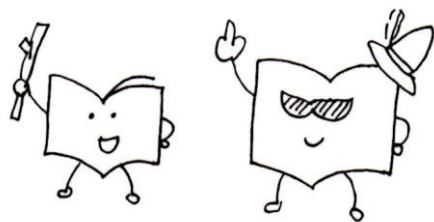
クローディアは、弟のジェイミーを誘って家出をすることにしました。なんと家出先はメトロポリタン美術館。2人は、ミケランジェロ作とされる天使の像の謎を解こうとします。

### 「怪盗紳士」

ルブラン／原作 南 洋一郎／文

ポプラ社刊

天才的な頭脳、驚異的な運動神経、自在にその姿を変える変装の名人。風のごとく現れ、風のごとく消える、その男の名は怪盗紳士アルセーヌ・ルパン。ルパンの華麗なる犯行をとくにご覧あれ。



### 「岸辺のヤービ」

梨木 香歩／著 小沢 さかえ／画

福音館書店刊

ある日、ウタドリさんが岸辺で出会ったのは不思議な生きもの「ヤービ」。すてきなヤービとウタドリさんのあたかい交流が始まります。

### 「カマキリと月」

マーグリート・ポーランド／作

さくま ゆみこ／訳 リー・ヴォイト／画

福音館書店刊

月を捕まえようとカマキリはいろいろな方法を考え挑戦しますが……月を捕まえることはできるのでしょうか。

### 「お蚕さんから糸と綿と」

大西 暢夫／著

アリス館刊

滋賀県の山麓の集落に、一軒だけ残っている養蚕農家。春と秋、お蚕さんを育て、繭から糸をとる。蚕と共に生きる人々の姿を追う写真絵本。

### 「好奇心の部屋テロール」

今森 光彦／文・写真

福音館書店刊

パリのふしぎなお店テロール。じっさいのはくせいや、標本を見せてくれる博物館みたいなお店の中を写真でたくさん紹介します。

### 「こんぴら狗」

今井 恭子／作 いぬんこ／画

くもん出版刊

人間のかわりに、犬が神社にお参りした！？江戸時代に、本当にあった話なんです。江戸から、はるばる四国のこんぴらさんへ、いざ、まいろうか！

### 「寿命図鑑」

やまぐち かおり／絵 いろは出版／編著

いろは出版刊

動物、植物、食べ物、モノ、天体……生き物だけでなく、こんなものも！？いろいろなものの寿命を紹介します。